［認知症対応型共同生活介護用］

# 1.　評価結果概要表

作成日　平成21年 7月 4日

## 【評価実施概要】

| | |
|---|---|
| 事業所番号 | （※評価機関で記入）4670102674 |
| 法人名 | 株式会社　サンライトメディカル |
| 事業所名 | グループホーム　やすらぎの家 |
| 所在地 | 鹿児島市高麗町22-16<br>（電　話）099-285-1211 |

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人　福祉21かごしま |
| 所在地 | 鹿児島市真砂本町27-5　前田ビル1F |
| 訪問調査日 | 平成21年7月4日 |

## 【情報提供票より】（ 21年　5月　1日事業所記入）

（1）組織概要

| | | |
|---|---|---|
| 開設年月日 | 平成　14 年　4 月　1 日 | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計　9　人 |
| 職員数 | 7　人 | 常勤　5 人，非常勤　2 人，常勤換算　7 人 |

（2）建物概要

| | |
|---|---|
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート　造り |
| | 3 階建ての　2 階　～　3 階部分 |

（3）利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 家賃（平均月額） | 33,000　円 | | その他の経費（月額） | 実費 |
| 敷　金 | 有（　円） | | 無 | |
| 保証金の有無<br>（入居一時金含む） | 有（　200,000　円） | | 有りの場合<br>償却の有無 | 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり　30,000　円 | | | |

（4）利用者の概要（ 5月　1日現在）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 | 1 名 | 女性 | 8 名 |
| 要介護1 | 0 | 名 | 要介護2 | 1 | 名 |
| 要介護3 | 5 | 名 | 要介護4 | 2 | 名 |
| 要介護5 | 0 | 名 | 要支援2 | 0 | 名 |
| 年齢 | 平均 | 91 歳 | 最低 | 81　歳 | 最高　105 歳 |

（5）協力医療機関

| | |
|---|---|
| 協力医療機関名 | 肥後クリニック |

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅街に建ち、2階が共有スペース、3階が居室となっているホームである。隣接する医療機関で気軽に診療や機能訓練の支援を受けられる環境を整え、本人や家族に安心できる暮らしや生活の張り合いを提供している。利用者は高齢化しているが、できるだけ外出したり、前の公園で遊ぶ子供の姿を見たり、歌を歌ったり、手踊りをしたりと活気のある毎日で、近所のグループホームと合同のアニマルセラピーも好評である。さらに、協力医療機関との連携により重度化した場合の指針を作成し、対応について毎年研修を行い、職員の力を育てながら緊急時の対応にも備えている。一方では、ひとりになりがちな方にも、個人のペースを大切にし適度に距離感を保ちながらも、常に目を配り時々声をかけるさりげないケアがあった。

| | |
|---|---|
| 重点項目① | **前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4）**<br>前回評価の結果は、家族には運営推進会議や家族会で結果を説明して配布し、職員には定例会で伝達した。改善計画シートを作成し、職員の経験に応じた研修方針を考えるなど、評価を活かす取り組みを行っている。<br>**今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4）**<br>自己評価は職員全員で考え、ガイドブックを利用しながら話し合い、時間をかけて結果をまとめた。外部評価の意義を確認し目指す方向や課題を考える機会になったと認識している。 |
| 重点項目② | **運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み（関連項目：外部4，5，6）**<br>2か月ごとに開催している。家族代表、地域代表、包括支援センター職員などを招いて、地域や家族からの要望や意見が出され有意義な会になっている。議事録の記載は充実し、発展的な会となっている。 |
| 重点項目③ | **家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7，8）**<br>玄関や入居時の説明書類などに苦情相談窓口を明示するとともに、年2回の家族会を利用して意見や要望を遠慮なく述べてもらえるように声をかけている。また、第三者委員を決め、玄関には意見箱も設置し、出された要望は申し送りノートで共有し、結果を家族に報告している。細かいことでも苦情相談簿に記載し職員全員が検討する仕組みができている。 |
| 重点項目④ | **日常生活における地域との連携（関連項目：外部3）**<br>町内会に加入し行事に参加したり、清掃活動に参加をしながら地域との交流を図っている。また、中学校の職場体験を受け入れ、地域に貢献したり、日常的にも公園や散歩での出会いを大切にしながら交流を図っている。利用者のことを覚えていただいて、地域の方にもグループホームについての認識度は上がっていると感じている。 |

# 2.　評価結果（詳細）

（　　部分は重点項目です　）

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅰ．理念に基づく運営** | | | | | |
| 1．理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 「やさしさとぬくもりでつつみ　地域と共にやすらぎのある施設を目指します」と地域の中でその人らしい暮らしを支える内容の理念がある。これは今年の4月に職員全員で考えて作成した。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 職員のネームの裏に書き入れたり、玄関やリビングに分かりやすく掲示するとともに申し送り、定例会、研修会などで確認している。 | | |
| 2．地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町内会に加入し行事に参加したり、清掃活動への参加をしながら地域との交流を図っている。また、中学校の職場体験受け入れを行い、地域に貢献したり、日常的にも向かいの公園での出会いや散歩での出会いを大切にしながら交流を図っている。利用者のことを覚えていただき、地域の方にもグループホームについての認識度は上がっていると感じている。 | | |
| | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 昨年の外部評価の結果は定例会で職員に伝達し、改善計画シートを作成し研修の方針が立てられた。家族には運営推進会議や家族会で結果を配布し報告した。自己評価は職員がガイドブックを利用しながら全員で話し合い、時間をかけて結果をまとめた。外部評価の意義を確認し目指す方向や課題を考える機会になったと認識している。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月ごとに開催している。家族代表、地域代表、地域包括支援センター職員などを招いて、地域や家族からの要望や意見が出される有意義な会になっている。議事録の記載は充実し、発展的な会となっている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携<br><br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 事務手続きなどのために市担当窓口や関係窓口に立ち寄り、情報交換を行うなど、協働してサービスの質の向上に取り組んでいる。また、介護相談員を招いて利用者の声を表出する機会も作っている。 | | |
| ４．理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告<br><br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 面会や電話など機会をとらえて状況を報告したり、毎月通信を作成し写真や暮らしの様子などを記載して配布している。金銭管理については面会時に説明し、確認の押印をもらっている。職員の異動は通信で報告したり、家族会で説明し新しい職員を紹介している。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br><br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 玄関や入居時の説明書類などに苦情相談窓口を明示するとともに、年2回の家族会を利用して意見や要望を遠慮なく述べてもらうように声をかけている。また、第三者委員を決め、玄関には意見箱も設置し、把握した要望は申し送りノートで共有し、結果を家族に報告している。細かいことでも苦情相談簿に記載し職員全員が検討する仕組みができている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br><br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 運営者及び管理者は職員の異動を必要最小限にとどめるように努力をしている。また、今年管理者の交代があったが、利用者や家族に紹介し、引き継ぎには運営サイドから頻繁に出向き指導したり、きめ細かく相談に乗ったりするなど職員にも利用者にも配慮した支援を行っている。 | | |
| | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み<br><br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 毎月法人内でテーマを決め、年間計画に沿って資料を作成した勉強会を行っている。その他に行政や社会福祉協議会の研修などにも参加し、受講料などは事業所が負担するなど職員の資質の向上に努めている。また、採用時、1～3年目など経験に応じた段階的な研修方針を作成している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br><br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 法人内および近所のグループホームと利用者を交えた交流を図っている。研修会で知り合った管理者とも情報交換をしサービスの向上に努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | |
| 1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br><br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 入居前から家族や本人と面談を重ね、不安の解消や早期からの関係作りに努めている。また、今までの暮らしで馴染んだものを持ってきてもらったり、家族や今まで係わりのある方の訪問をお願いするなどの工夫を行っている。 | | |
| 2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br><br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | お茶を飲んだり、料理の下ごしらえをしたり、共に過ごす時間の中で、知恵を教えてもらったり、ねぎらいの言葉を掛けてもらいながら支えあう関係を築いている。歌を歌ったり手踊りをしたりも頻繁に行われており、一緒に楽しむ機会を多く設けている。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | |
| 1．一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握<br><br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 利用開始前から本人や家族、その他関係者から利用者がどのように暮らしたいかを聞き、安心して暮らせる介護計画を目指している。入居後は日々のかかわりの中で本人の意向をくみと取り、ケア会議などで職員間で共有している。 | | |
| 2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br><br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している | 安全と自立のバランスを念頭においた計画を作成するため、主治医の助言を取り入れ、計画作成担当者を中心に本人や家族や職員と検討し、利用者主体の介護計画を作成している。職員の気づき、利用者・家族の意見の確認は介護計画作成時だけでなく日常的に行うようにしている。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br><br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 介護計画を念頭に入れた介護記録を記載し職員の気づきを記入している。状態の変化が生じた場合はそのつど見直しを行い、大きな変化が見られなくても、毎週の定例会で状況の確認をするとともに、毎月支援経過記録にモニタリングを記載している。3ヶ月ごとに介護計画の評価を行い、目標期間の終了時には担当者会議を開催し介護計画の見直し、作成をしている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| ３．多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 医療機関との連携を密にし長期入院を回避したり緊急時の受け入れ体制を整えている。また、入院中の利用者の元へも頻繁に出向き、安心した療養生活が送れるように支援している。その他、利用者の通院介助や外出支援、家族への食事の提供も行っている。さらに、隣接する医療機関へほぼ毎日出かけ、理学療法士の協力を受け、リハビリ機器を利用し機能低下を防ぐ運動も行っている。 | | |
| ４．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者及び家族の希望を大切にし、その上で協力医療機関の支援をもらっている。また、定期的な往診、通院介助の際に一人ひとりの受診ノートを作成し、医師の指示や与薬の変更など分かりやすく記載され、リスクの回避につながっている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や看取りに対する対応指針を定め、入居時に家族に説明し同意をもらっている。また、重度化した場合は、家族、かかりつけ医、看護職などと相談し、状況の変化に伴った合意事項を記録し、職員間の共有も図っている。職員は重度化した場合の対応について研修で年に1回は知識の共有を図っている。 | | |
| １．その人らしい暮らしの支援<br>（1）一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 玄関、事務室に個人情報の保護方針についての掲示があり、記録等は外来者の目に触れないように事務室に保管している。利用者への日頃の声かけについては、ミーティングで話し合いながら個人を尊重しながらも親しみが持てるような声かけを実践している。毎年研修に組み入れ再確認をするようにしている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 体調や希望を考慮し、その日の過ごし方について個別に声をかけながら支援している。本人の外出・着衣などの選択を支援しその人らしい暮らしができるように環境を整えているようすがうかがえる。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| （2）その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の嗜好を聞きながら、旬の食材を取り入れ、食事の下ごしらえや配膳をしてもらっている。食前には必ず歌を歌い、楽しみながら口腔機能の向上を図り、和やかな雰囲気を作っている。職員も同じテーブルで食事し会話を楽しんでいる。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 曜日や時間を決めず、毎日でも、朝でも利用者の希望に応じた入浴ができる。入浴を嫌われる方にはできるだけ声かけを工夫し、体調が悪く入浴できない方にも部分浴やシャワーを利用しながら気分転換や保清に努めている。 | | |
| （3）その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | プランターの水やり・食事の支度、つわやタケノコの料理など生活歴から得意なことを見つけ、職員が教わりながら豊かな暮らしを支援している。また、歌や手踊り、アニマルセラピーなど楽しみを見つけている。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援<br><br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | ほぼ毎日、近くの協力医療機関に出かけ、機能訓練を行ったり、公園での時間を楽しんでいる。また、地域の行事参加や墓参りなども支援している。歩行が難しい利用者も車いすを利用してできるだけ外出の機会を作っている。 | | |
| （4）安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br><br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、昼間は自由に玄関から外出できる。外出されるときには職員がさりげなくついて出たり、見守りを行っている。また、近所の住民も顔馴染みとなっているため声を掛けてもらえる関係ができている。 | | |
| 27 | 71 | ○災害対策<br><br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 消防署と夜間を想定した避難訓練を含め、定期的な訓練を行っており、近隣の施設にも緊急時の協力をお願いしている。また、非常時の備品や飲料水等はすぐそばの法人医療機関に保管している。 | | |

| 外部 | 自己 | 項　目 | 取り組みの事実<br>（実施している内容・実施していない内容） | （○印） | 取り組みを期待したい内容<br>（すでに取組んでいることも含む） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br><br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事については法人管理栄養士にアドバイスをもらいバランスに気をつけ、一人ひとりに応じた量を盛るようにし、飲水量は1日1200ml以上を目安にしている。毎週の体重変動や食事の量や水分摂取量は個人別に記録され、排泄も参考にしながら健康状態が把握されている。 | | |
| ２．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり<br>（１）居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br><br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間には季節を感じる花が飾られ、ところどころに和室やソファなどゆっくりくつろげるコーナーがある。食堂は日差しが差し込み明るく、台所の料理のようすが感じられ五感を刺激している。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br><br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 各部屋に洗面台が配置され、使い慣れた家具や仏壇、思い出の写真をはじめ、テレビや趣味の品など利用者の馴染みの道具が多く見られる。また家族とも相談しながら部屋作りを行っている。 | | |